小児保健学特論（令和7年度は開講しません）

Child Health Nursing

1年次前期・選択

2単位・30時間

【概要・目標】

人間の基盤となる成長発達理論・発達評価およびファミリーセンタードケア・倫理原則の概念を学修し、ケアの対象者を尊重する援助方法を探求する。

【授業内容・スケジュール】

- 1) オリエンテーション 子どもの成長発達の概要
 - 2) ～7) 新生児期から思春期にわたる成長発達に関する代表的な理論や発達検査法を理解し、人間の成長発達を包括的に査定して看護に活用する方略を学修する。
 - ①Erikson（エリクソン）の発達理論
 - ②Piaget（ピアジェ）の認知発達理論
 - ③Bowlby（ボウルビィ）の愛着理論
 - ④Mahler（マラー）の分離－個体化理論
 - ⑤Vygotsky（ヴィゴツキー）の発達理論
 - ⑥発達評価：新版K式発達検査・DENVERⅡ発達判定法
 - 8) ～12) Family- Centered Care の概念を理解し、家族支援について文献・事例検討を通じて看護実践への適用を探求する。
 - 13) ～15) 子どもを対象とする看護を実践するための倫理問題について、倫理原則・法・ガイドラインを理解し、事例を通じて問題を解決するための方略について探求する。
-

【評価】

課題プレゼンテーション・レポート・討議での発言

【テキスト】

適宜資料配布

【推薦参考図書】

適宜紹介

【その他】